

事業所名

NHO富山病院

児童発達支援 プログラム

作成日

R7

年

1

月

10

日

法人（事業所）理念		「理念は高く 目線は低く」 患者さんの目線に立ち、より良い医療の提供を目指します。		
支援方針		①日常生活能力、運動機能、認知機能等知的能力の発達を促します。また、集団生活を通して対人関係の発達を促し、社会性、協調性を養います。 ②在宅重症心身障害児（者）を持つ家族の身体的、精神的負担を軽減し、福祉の増進に努めます。 ③医療的ケアを必要とする患者・利用者の医療・福祉・就学（学校教育）を支援します。 ④一人ひとりの年齢・状態等に合わせ、個別支援プログラムを作成し、その計画に沿った内容を実施し、評価していきます。 ⑤利用者の人権を尊重して、利用者の立場に立った支援の提供に努めます。 ⑥個人情報の保護及び事故防止・虐待防止など関連法令・通知等を遵守します。		
営業時間		9 時 00 分から 15 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	◎必要な医療的ケアを行い、健康を保ち、生活リズムを整えます。 ・健康状態の把握 医療的ケアの実施（吸引・吸入、酸素吸入、ストマ処置等） ・排せつ支援（おむつ交換、トイレトレーニング等） ・入浴支援 ・呼吸リハビリ 安全への配慮 ・食事支援（食事介助、注入） ・体位交換・良姿勢の保持		
	運動・感覚	◎身体感覚のバランスを整え、異なる感覚刺激をまとめる力や、外界への興味・関心を育みます。 ・活動に適した姿勢の選択・保持 ・運動器リハビリの実施 ・療育活動（個別・集団）の実施		
	認知・行動	◎外界からの刺激に注意を向けたり、感情を呼び起こしたり、事物への好奇心を育みます。 ・療育活動（個別・集団）の実施		
	言語 コミュニケーション	◎言葉かけを受け止め、感情を共有する力や発信する力を育みます。 ・療育活動（個別・集団）の実施 ・その他支援場面全般での関わり		
	人間関係 社会性	◎関わり手の存在を受け止め、心地よい環境で他者との良い関係性を育みます。 ・療育活動（個別・集団）の実施 ・その他支援場面全般での関わり		
家族支援		・医療的ケア、健康管理等についてのアドバイス ・自宅で取り組める発達を促す関わり方等の紹介 ・短期入所等の障害福祉サービス、補装具等の相談 ・家族からの相談事への対応 ・機関誌の発行 等	移行支援	・就学（予定）先の小学校、特別支援学校への情報提供、見学対応 ・並行利用先の児童発達支援事業所、保育所等への情報提供・情報共有等
地域支援・地域連携		・富山県の重症心身障害児（者）在宅サービス提供体制促進事業の受託 ・富山市自立支援協議会への参加 ・病院フェアの実施 等	職員の質の向上	・院内研修・法人内研修への参加（医療安全研修、感染管理研修、虐待防止研修、身体拘束適正化研修等） ・事業所運営に係る資格取得研修への参加（児童発達支援管理責任者更新研修等） ・各種学会・研究会・協議会への参加（重症心身障害学会、国立病院総合医学会、東海北陸重症心身障害ネットワーク研究会等）
主な行事等		・誕生会、季節に関連した行事活動（お正月遊び、節分、ひな祭り、こどもの日、七夕、夏まつり、クリスマス等）		